

GENRON

昭和廿一年三月三十日印刷  
昭和廿一年四月五日發行  
一月一回五日發行

論言

第壹卷  
第參號

生活を求める群

東大社會科學研究會

定價

參圓八拾錢

四月號

小説  
日毎のム  
フヨイドル  
クイール

高山書院

# 生活を求める群

……… 浮浪者調査報告………

座 談 會

## 浮浪者はルンペンではない

A 一番最初浮浪者と廢舎生活の調査をやらうといふのには、必ずしもの確なる理論なり、目標なりを置いて始めたのではないのである。當時新聞でえらく上野驛に浮浪者がゐると注意を喚起されたので、そこへ行つて見れば何か分るだらうといふやうな考へで行くことになつたのですが、しかしわれ／＼としてはまだ一應浮浪者の問題は、從來のいはゆるルンペンの問題ではなくて、もつと基本的な日本の經濟機構の矛盾といふやうなものが今の戦争で爆發した、さういふものゝ抽象的な表現があつてこゝに現れてゐるのではないかと

の意圖を途中から明確にして飛び込んで行つたわけだ。行つてみると、成程と思ひ當る節があつた。これは僕の體驗だが、皆もさうだつたと思ふのです。新聞なんかの論調では社會塞的な救済を必要とするといふやうな見解だけれども、實は問題はもつと深い所にあつて、破壞された國民經濟を再建する上の勞働の面から觀ての非常に面白い數々の現象があるといふやうに思つた。十二月八日に上野驛へ行つた。ところが前の月に浮浪者の追放をやつた、何處へ行つたかと訊くと、櫻ヶ丘國民學校と淺草の本願寺に收容されたといふので、その同じ日に一部の人が櫻ヶ丘國民學校の調査に行き、上野と本願寺は十一日に

調査して來た。方法は、調査票によつて個別に聞き取り調査をやつた。

編輯者 調査票を作られた方法論的な基礎といふか、かういふ項目を作つた特別なお考へがあつたのですか。

B 浮浪者の場合大體次の三點が重要だと思つた。農村出身か、都市の勤勞者か、さういふ出身別が一つの重要ポイントであり、それが現在どういふ生活をしてゐるかといふことがもう一つのポイント、もう一つは勤勞に携る意思があるかどうか、これが調査票を作るときのポイントだつたのです。

C 浮浪者の類型ですね。

A 浮浪者があゝいふところに出て來るまでにどういふ人間がどういふ過程で出て來るかが問題ですね。前職だとか出身地、さういふものを明かにして、それはどういふ階層からあゝいふところに流れ込んで來るか、その源泉といふか貯水池、豫備軍はどこにあるかといふことを探る、と同時に直接あゝいふところに入つた原因を突止めようと思つてやつたわけだ。それから現に一體どんな生活をしてゐるか、収入はどうか、金はどれ位持つてゐるか、等を調べて、彼らは一應仕事を持つてゐないものとして、或は持つてゐるにしても不定期な日傭的な勞働であり、しかも勤

勞意欲をどの位持つてゐるか調査しよう、と考へて、調査項目の編成をやりましたが、作つた時にはまだ大分あゝいふ浮浪者をルンペン視した感じを受けた。

B 最初に浮浪者エコー失業者だと考へてみたわけですが。

D その誤謬が確かにあつた。

E 浮浪者に対する先入観があつたわけですが、單なるルンペンだといふ先入観——それが勢ひ調査票に現れて來たわけではせう。

編輯者 實際に當つてみてどうでしたか、  
C 外見的に案外綺麗な恰好をしてゐるものがをり、また相當浮浪化して勤勞意欲を喪失してゐるかと思ふと、單に居住施設が無いためあゝいふ處にやつて進駐軍の仕事を持つとか、闇屋の仕事をしてゐるとか、案外な點が見出されたのです。

編輯者 風早先生が讀賣に書いていらしたあれに對する何か御感想は。

E ぶらッと上野に出掛けてその實態を覗いて——つまりなら組織的な調査方法によらないで、あれだけの成果を擧げたといふことは、日本の經濟機構といつたやうなもの、しつかりした把握があつたからで、その浮浪者の分析には俄なんかに全面的に養成してゐるわけなんです。

B われわれが研究報告をしたあとで風早さんのが出たのですが、一人で行かれてあられだけの勝れた結果を打ち出されたといふことは、やはり研究調査といふことは、たゞエコーギンギンに澤山調べるだけでは駄目で、理論の背景がない調査は成果がない、と感へてしたですね。

經濟學部大醫院 特別研究生	氏原正治郎
經濟學部三年	井出洋
經濟學部二年	高橋洗
醫學部二年	鈴木健二
經濟學部一年	田沼肇
經濟學部一年	上原信博

A 調査項目にしても、そこに何んらか理論的な背景がなくてほならないだらうと思ふ。事例を幾つか當つてみて、その事例のケースの意味を一つ／＼理解することが肝腎ではないか。風早先生はさういふ點では非常に明快であると思ひます。

編輯者 さういふ理論的な面どうか、方法論の問題で、あなた方は前以て話し合ふとか用意された點はないのですか。

C 全然なかつたんぢやないか。たゞ私としてはその前に壕舎生活者の實態調査をやつたのです。それとの相關性といふか、關聯性において果して、どの程度の差があるかといふやうな點において特に見ようと思つたのです。それで調査項目も似てゐるところもあるし、相當違ふところもあつたが、特に感じたことは、結局壕舎生活者は配偶關係なんか見ますと、私の調べたところでは獨身者が多い。又は戰災で、女の場合は夫を、男の場合は妻を喪つた。つまり壕舎生活者は戰災者に違ひない、ところが、上野に集つた浮浪者はどつちして浮浪者たらしめたかといふと、配偶の問題が相當ある。妻子を養ふだけの責務を持つてゐる者は結局壕跡に壕舎でも造つて、更にベラックを造つて生活するといふやうな相當生活力を持つてゐる。それに對して浮浪者は結局獨り身で自分だけだからどうにかなるといふやうな氣持があつて、それが根本的に支配してあゝいふ浮浪化の原因になつてゐるんぢやないか。さういふ意味において私は問題を取扱つたのです。

B さういふ結論だつた？

C 私はまださう考へた。

B それは確かにさういふ場合があるが、僕の見た場合だと、さういふ配偶のない場合でも、単に配偶だけでなくて、家族があるかみないか、年齢層が低いために、普通だつたら家族の構成員として入つてゐられるわけだからから配偶のある人も勿論二割以上あるわけです。

C ひます。

B それは何ぞ家族の一員として生活出来ないか、又配偶のある人が押し出されて来るかといふと、それは單に勤務の責任の問題ぢやなくて、壕舎生活をする人はやつてゆく物質的な基礎があると思ふのです。ところがあすこまで来る人はその物質的な基礎すら奪はれてしまつて、壕舎を建てるべき土地がない、材料がないといふやうな状況になつてゐる。もつと酷いのは、妻や家族が近郊や郷里に置いてあるが、其處に棲めなくなつた。たゞ寄食してゐるわけにいかない。それで出て来て働いてゐる。さういふ人がある。

C 妻子を郷里へ歸して、自分獨りだけになつてあすこにゐて働く。さういふ人もあります。

B 本當ならば郷里へ行つて働けばいいが郷里で働けない。全然戦災に關係がなくて、

新潟から小作だつたが徴用で上つて来て、解除になつて家へ歸つて行つたが其處に仕事がない、といふやうな人もあります。

C 終戦後何か仕事がないか、東京へ行けば進駐軍の仕事があると聞いて、幾々田舎から出て来た。ところが案外ひどくやられてゐるので泊るところがないので、あすこへ来て仕事をしてみるところがある。

B この寒いのにあふいふところに寄生してゐるのには、どうしても家にゐられないといふことが基礎的な問題ぢやないか。

C 風早先生は、日本資本主義のいはゆる相対的な過剰人口の三つの中の第一の類型に入れてをりますね。私は主として壕舎生活者との關係性において調べた場合、そこに重點を置いた。

A 煎じ詰めると面白い。純然たるルンペンもある。さういふのは下へ落ちかゝつてゐるのだけれども、もう一つは職人なんかで徴用解除になつてみたら何もない。家を建てることも出来ない。下層の小市民層が吐き出されてあすこへ來てゐる。といふ類型が見られる。もう一つは農村の問題だけれど、復員して歸つて來ても土地がない、耕やす土地がなく出て來た者もある。さういふのは農村における過剰人口の捌け口だ。

### 櫻ヶ丘—上野—本願寺

B 段階的に櫻ヶ丘國民學校から上野驛、淺草本願寺と順次に轉落してゆく。あすこの流動性は面白い。

D 類型を櫻ヶ丘國民學校をA項、上野驛をB項、淺草本願寺をC項としたのです。

編輯者 幾つかの類型に分けられる浮浪者、それほ地域的とか、生活のお互の關係です。意識的に自覺して分れてゐるわけですか、實際にはエチャ／＼にゐるわけですか、客觀的に調べて行つてさういふられるか。

B やはり意識的です。本願寺にゐるのは決して本願寺にゐることをいふと思つてゐないが、其處から出られなくなつちやつた状態だけれども、上野にゐるのは本願寺から出て來て上野にゐる、本願寺へ行つてみたけれどもあんなところに生きてゐられん。上野にゐるのに訊いてみると、櫻ヶ丘國民學校に行つたけれども、バスがないと泊めて呉れない。だから意識的といへば意識的です。櫻ヶ丘國民學校は恒常的な仕事があつて、上野は浮浪的、本願寺に落ちたのは全然仕事がなく慈善による薄明を發つて生きてゐる。

編輯者 上野があふいふ集り場所になつたのはどういふ譯ですか？

F 雰圍氣です、半ば封建的な……。

B それは雰圍氣といふよりは、彼處を通る人が濃村の人が多し。握飯を買つたり、非常にクアマリアの感じがするのだね。

C 横濱の方に働きに行くにもあすこが、櫻木町行き電車の起點になつてゐる。

編輯者 戦災孤兒が多数あるのですが、犯罪の面とも關聯して問題があるので、すけれど、さういふ子供はあの一群の中ではどうですか？

B 僕の調べた子供達は四人か五六位集つてゐてそれに兎貴があるらしい。そいつを又支配してゐるボスがある。で子供達は可哀相だからと方々から無料で物を貰ふわけです。その場合には決して子供達自分達だけで獨占していけない。例へば蜜柑を買つたら、四人なら四人のグループへ出して人数で平均に割つて食へることになつてゐる。

C 共產主義ですね。(笑聲)

編輯者 グループの限度がありますか？

A 僕の調べたのは五人で、靴磨とか、生産資材ではないけれど、道具みたいなものを供給されて……。

C 救へて貰はうと思つてみますよ、磨き方なんかを……。

D これにもA・B・Cの段層があります。

例へば櫻ヶ丘國民學校は親子の繋がりといふものが眞々見られます。それから上野澤の場合は子供達だけのグループがあるらしい。何ぞかといへば、淺草から子供たちが一回入つて逃げて来た。だから大人に對して本能的に恐怖を感じてゐる者がある。ところが、淺草の場合には全くさきに述べられたものが典型的にみられます。

編輯者 年齢的な關係から親しさや集る契機になつてゐるのですね。子供は子供といふやうな氣分。

B さうかな。

C あれは同じ學校とかなんとか關係がありますか？

B さういふ例はないんぢやないですか。D 僕のひと體驗した例では、目黒で戰災して、新橋で四、五人の子供と一緒に上野に移つて捕つて本願寺へ連れて行かれて、また本願寺と一緒に脱出したグループだといふことが知れてゐる。

### テキヤと浮浪者

編輯者 浮浪生活を知らなかつた連中ですね。きのふ僕はちよつと新聞で見たが、今お話にもあつたやうに親分乾分とか色々な内部的な關係が段々出來てゐるやうで面白い。社

會學の人はさういふ面から參加して行つたら勉強になつたんぢやないかと思ふ。大人の間にもさういふ關係がありますか？

C 大人は全然ない。

E いはゆるX團といふやつね。

A 僕は單獨で行つたことがあるのです。すると、仲間と思はれて、火にあたつてゐる奴が、一見さん、働かんか？二働いてもいふけれども、何か皆い仕事でもあるか？といふわけだつたが、その時の様子だと、五六人づゝの小さいグループがあるやうです。焚火にあたつてゐたら、そこへ一人の奴が喧嘩したから應援に來て呉れ、と云つて來た。

喧嘩した原因は、進駐軍の煙草だと稱してその中へ他の煙草を入れてはかのグループに賣つた。開けてみたら運ぶから、なんだ怪しからぬ、と、やることになつたけれど、それは話が付いたらしい。さうしてみると、さういふ小さいグループが幾つかあつて、それが例

の團體に包含されてゐるのぢやないか。幾つかの小さな組織が出來てゐて、そいつが例の團體に統合されて闇市場となつたと思ふのですけれど、これは一つのケースに過ぎないから分らないが……。

E 彼らの背後には右黨がゐるます。

B 實際の……い事をやるからね。慈善事業

と稱して、浮浪者が束になつて搾取されてゐる。親分達は自分達だけ白い飯を食べて、そこにゐる連中には薄粥を食はせてゐる。地下室の中におけるのは本當のドン底みたいな生活らしいですね。

A 物資は都から配給があるのですか、どんなものを食べてゐるのですか？

D この位の茶碗でして（小さな形を手で示して）ぬるい雑炊粥に福神漬三片細かいのが丹念に載つてゐる。諸があつた頃は晝は諸が二本ついた。

編輯者 それで仕事に出るのですか？

D 出てゐました。

A 仕事に出るのはあの飯では足りないから、結局外食券を買つて食ふ。上野驛はみな外食券を買ふのですね。

D 一枚の毛布で二人寝てゐる。組合せがよく出来てをうて、鮮人と日本人と寝てゐる。決して一人寝ない。

C 震災孤児の話を書いて本願寺へ行つてみようとしたら、今解散されて、彼處へ共同施設を造るのださうですね。その間上野驛へ来てゐるといふので上野驛へ行つて調べましたが、新しい共同施設を造るのは例の團體でやつてゐるのか、東京都の方でやつてゐるのか分らぬのですが……。

編輯者 配給なんか取れないといふことが新聞に出てゐましたね。

D 移動證明は家がなければいけない。懐ろに移動證明を持つてゐるのがゐました。その頃は……。

B 移動證明を奪られたことが浮浪化の一つの原因になつてゐるらしいのですね。

D 財布を奪られた。移動證明を奪られたのが相當のパーセントでした。

編輯者 金は持つてゐますか？

C 持つてゐるものもあるし、全然持つてないものもある。二百圓位持つてゐるといつてゐたのもありました。大抵は持つてゐない。

D 金の問題なんかはデーターが舊いが、浮浪者の中の親分乾分の關係なんかは酷くなつてをれ纏まつてゐることはない、それは確實だ。進駐軍へ一晩行くと、夜食を二回出して呉れて、毎晩出る必要がなく、一晩出て一晩寝て、それで外食券を一食に二枚宛食べられしかも新聞が讀まれて風呂へ這入られる。

C それからさのふ行つて気が付いたのは結局闇屋の親分、さういふものがをつて、その手先の者が浮浪者の恰好をして入つて来て人寄せといふか、浮浪者の中の適當なのを親分に世話する。いはば周旋人みたいなのが世話するのだけれど、大抵親分のところへ来て、

今まで蒲團もなかつたのが蒲團も與へ、正常な食事を攝らせると、從來の不規則な生活が祟つて必ず身體をこはしてしまふ。そしてものにならないで親分に叱られて歸つて来る。周旋人の失敗談を盛んにやつてゐましたけれど……。

編輯者 さういふ榮養失調とか、醫學の面からの特徴は何かありますか、一般に比べて榮養失調といひますか？

F それ程でもないのです。D それを顯著に感じるのには本願寺です。非常にいゝ人と悪い人がある。勞働能力がない人、例へば手の指がとれてゐるとか、脚がない人といふやうな勞働力がない人は顯著にそれが現れてをりますね。

A 浮浪者といつても、僕は上野の方になると、いはゆる調査の範圍に這入らないやうな浮浪者があるんぢやないか、浮浪者、宿無しといふやうな。

D 新聞で書かれる意味の浮浪者ぢやないわけです。上野驛なんかのは……。

A プローカーをやつてピン／＼してゐてプローカーと分らない。電車に乗つてゲルゲル／＼廻つて、終りに上野で降りてどこも行く處がないから其處にゐた、さういふのは普通の恰好でゐて分らないのです。上野の

方はそんなやうなところから下の方は一番みぢめなドン底の生活をして、結局、餓死して行くまで色々階層があるんじゃないかと思ふのですよ。

### 農村から上野へ

F 農村との繋がりは大きいね。

B それは問題になつた。

C 歸農といふことが叫ばれてゐても、農村人口は過剰であつて吸収し切れないといふことで却つて農村から都市の方へ放出してゐる状態ですね。

F 櫻ヶ丘國民學校にシーソー・ゲーム式に静岡と千葉の間を三回目の往復をしたといふ親爺があたね。農村人口の過剰で歸農が出来ない。

D 上野驛に浮浪者がゐるといふことは象徴的ですな。

C 國へ歸つても親戚の者がよく思はないで、死んでも歸るのがいやだ。

A さういふ例が多いのです。

C それ程居辛いかと訊くと、さうだと云ひます。

B ちつとも相手にしてくれない。家が貧農なんですな。百姓をやめて工場へ出たが、歸つたら土地がない。さういふケースだな。

編輯者 それが多いのですか？

D そのケースも現在も改善されてゐることはない。改善されてゐるとしても……。

B それは農地調整法で整理されれば一層過剰人口を生む。

編輯者 復員軍人が入つてゐますか？

B 復員軍人、炭坑夫、海員。

C 沖仲仕。

B 海員は今新聞で、海員の施設が全然ない、と問題になつてゐますね。終戦で船が停まつてしまつて首をきられた。それから何で暮したか、進駐軍の工夫で暮してゐたわけです、しかも泊る施設を會社が造れないのです。トラックを造つてそこへ入れてをたらしいけれども、従つてその頃はまだ船員達は驛やなんか泊つて仕事をしながら新しい職が出来るのを待つてゐたのもあつた。それから外地の島々、南洋とか、さういふところへ築城にやらされてゐた人夫、それが歸つて来て。

C つまり軍屬として徴用されて行つてゐたんですね。

B 貧農とか、土工であつた者で歸つて來ても行くところがない。

A 職工で終戦の時に工場が周章て、首をきつておつぱり出した。さういふので復る氣持はないかといへばある、そして復れるけれど、

ども、賃銀が廉くて復つたら生活が出来ないから、といふ例があつた。そのことは工場に行つてゐる友達から聞いたんだけど、工場で人が足りない、足りなくても來手が無い。どういふところに原因があるといへば、工場は賃銀が廉い、生活費が高過ぎるから生活出来ない。結局工場に残つてゐるのは、近所の百姓の家の次男とか、家を持つてゐて食ふ方も一應安定してゐる、或は永年勤続して熟練工になつてゐて、相當賃銀も貰へるし、又出て行つても他にどうにもならないし家族が多いといふのが残つてゐるといふ話を聞いたけれど、さういふ事も今の賃上げ運動の原因ですね。

B さういふ具合に集つてゐる連中はどういふ考へをもつてやつてゐるかといへば働く意思が全部あるんですな。中には住む所と食事さへ保証してくれれば給料は要らないから行くといふ連中が多いのですよ。

D 炭礦の事なんか宣傳どほりに話すと、欣んで、ぜひ世話してくれといひます。

A 職業紹介所は何處に在るか、なんて質問してゐた。

編輯者 さういふ機構的な面から浮浪者が出来る原因があるんだけど、浮浪者自身の問題としては、やはり社會の落伍者とまで

は云へないだらうけれど、さういふ點の一種の無知ですね。例へば、職業紹介所の在り所さへ知らなかつたといふやうな、さういふ現在の生活の條件に適應して行く能力がどつかに缺けてゐるやあしませんか？

E やはり意志薄弱とか。

B さういふ人も多いけれども、しかしさうでない人が多いといふことは問題になる。

A それと日本の場合は、日本の勞働階級は宿命的にさうであつたんぢやないか。小市民の下層、勞働階級、農民の下層といふのはルンペン的な傾向が多分にあり、職業紹介所がどういふものであるかを知らないものでなかつたと思ふのだ。それを戰時中強力に軍需工場を發達させて其中へ入れて國民生活を危険に置いて来たわけだ。そして工場において技術水準も低いし、工場制度なんかも確立してゐなくて合理的な近代の生業が行はれず、戰時中における勞働階級は、すでに十八世紀のワークハウスのな浮浪者のなものを行つてゐたのだ。そいつがパツと出て来たからかういふうな混亂になつた、といふことも一つの原因ぢやないかと思はれるな。

E 實際彼らは知らないとしても、決して意思がないわけぢやない。非常に現在の政治に對して甚だしい不満をもつて、中には革命

的な言辭を云ふ人もゐる。たゞ感情的だよ。非常に注意しなければならぬことは、暴動的な意圖をもつてゐる。いざといふことがあつたら全部焼いてしまふ。口先きだけでせうけれども、前に閨屋が出てゐるでせう。そついつを全部叩き潰してしまふと言つてゐる。

C 僕はそんな過激な者に一人も會はなかつた。

D ドームの所にゐた。あゝいふのを右翼がルンペンプロレタリアを利用する。現在右翼的な俠客とか親分を通じてコントロールする條件がある。非常に危険だ。

E 危険だ。

### 先づ完全な宿舍を

B 浮浪者自身が自主的にある要求をもつて家を造らうとか、さういふ浮浪者の組織でなくて、外の者が利用しながら決してその問題を解決させないで搾取してゐる。大事なことは失業者が自主的な失業委員會を作つて、その代表が要求して宿舍をやつて、その宿舍を自分達が管理して宿舎をやつて、成長して行くことなだけども、日本の場合には、勞働者自身がさういふものを持たうともしないし、さういふことが出来ない。

C 浮浪者自身ではさういふ氣持はない。

B 力があると思つてゐない。自覺的に。

F 明治學院を出たインテリがある。健全な常識を持ち、しつかりした考へを持つてゐるが、さういふ境遇に墜ちてゐる。他の浮浪者を憤慨して、いざといふ時は自主的な民主的なものを作つてゆかうと思つてゐると云ひます。それは最高のクラスだと思ふけれど、あゝいふのもゐるからね、特殊な……。

B 浮浪兒の場合でも、典型的なことはさういふ具合になかの親分に利用されてゐるわけです。ところが、戰後の多くの浮浪兒をソヴェートの場合なんか見ると、どういふ具合にしてやつたかといへば、勞働組織が、浮浪兒の自主的な生活を訓練して行つたわけです。さうして以てそれを一人前の勞働者に仕上げて行つたのです。さういふ浮浪兒を教育する場合一番必要事は、彼らがいやがるやうなホームでなくて自分達が働ながら自分達で生活出来るやうな温かいホームを造つてやる必要があるんぢやないかと思ふのです。

A さうですね。だから今勞働組合が出来て實上げ闘争をやつてゐるわけだけれど、さういふ確立した勞働組合の基礎が出来たら、急速にあゝいふところに進出して働かかけて彼等が番長の子分みたいなものになつたり全然肉體的にも精神的にもルンペン化して



ふことを防止するための施設を、國家がむし  
るやるべきだと思ふけれども……。

F ウンさうく。

A 工場なら工場を造つて、浮浪化したの  
はすぐ逃げ出してふから、さういふのは半  
ば強制的にでも中に入れて、中でさういふ訓  
練をする必要があるんぢやないかと思ふな。

B 僕は半ば強制的にといふよりも、彼等  
自身がしつかりした設備を持ち、自主的な組  
織を作るために、こんなところに集めてあるよ  
りもつと住み心地のよいところへ集れるな  
ら、勿論そつちへ移ると思ふ。さうしない  
たどほつぱり出して置く。

F 訓練とか、警察してやる態度よりも、  
その身になつてじつくり話し合つてやる、そ  
の雰圍氣を作つてやるのが先決問題ぢやな  
いか。

D 全く十二月の始めに行はれてゐたこと  
はそれとは逆ですからね。警察的な權力で、  
本願寺よりもつと生活環境の悪いところへ押  
し込めてをつたからね。

C 臭いところへ蓋をして見えないやうに  
する。

B 十一時に巡査が廻つて来る。その時に  
進駐軍が五月蠅いから、驛の中から退ッ拂つ  
てしまふ。浮浪者は電車に乗つちやつて、ぐ

るく廻る。要するに巡査は見えなくさへす  
れば浮浪者が無くなつたといふやうに考へる  
あれが一番いけない。(笑聲)

D 八時になると、待合室に入つちやいやい  
ん。十一時になると全部捕へて本願寺へ連れ  
て行く。僕行つた時に待合室に澤山あるだ  
らうと思つたら、警防團がゐる中に入れない  
やうにしてゐた。

F 警察的權力だよ。明かに、國民學校な  
んかでもお前様でしてやるのだから「こつち  
へ集るい」といふ調子で悪いですよ。(笑聲)  
皆ぶつ／＼言ひながらゾロ／＼集つて行く  
が、家畜を追ふやうな扱ひ方を愛してゐる。

C 警察といふよりも警備隊が中心とな  
つて、警察の復讐警察といふものをさういふ  
ものに働きかけなければいかんわけです。組  
織を以て大邸宅を解放するとか、焼ビルを利  
用するとか、どん／＼やつてボスなんかに利  
用され、搾取され、いはゆる「玉」にならな  
いやうにして、自分たちが獲得してゆくより  
當面の策はない。家さへあれば本當の自立し  
た勞働者となつてやつてゆけるやうになる。

F 反動勢力を何とかしなければ利用され  
る。

A あゝいふ／＼にして置くと、生活自體  
が就業日數が月に半月か二十日位。

C 健全な中はいゝが、一遍寝かしたら病  
氣になつたりして仕事が出来ない。(笑聲)

D 本願寺の病室から隣の死亡室に入つて  
法醫學教室へ廻される。

編輯者 コースは櫻ヶ丘國民學校から淺草  
上野と通じてゐるのですね。

D 墓地へ歸るのです。

「新園」を知らない  
編輯者 金融措置令ですが、あゝいふこと  
については知識はあるんですか？

C ないですね。新園の知識はないので  
す。結局十圓といふものは五圓の價值しかな  
くなるのだ。それを訊いたのがありますよ、  
「新しいお札が出る。新しいお札は何んだ」  
「かう／＼」だといつたら、呑込め顔をし  
てゐた。

B ポケットに入れたまゝ無効になる人が  
ありますね。(笑聲)

E それはするぶんあるでせうね。

C 新園の切替へで、結局今は關市があつ  
て、彼等はその日得た三十圓なら三十圓を全  
部食物に費ひますね。今度は關市がなくなる  
と、金を持つてをつつても餓死するより外にな  
いぢやないか。さういふことに對しては別に  
恐怖を持つてゐない。

## F ン底以下の社會

編輯者 生活の一つの要素である「性」問題ですね。これはどうですか。

B F ン底ですよ。

F F ン底以下。

B ずつと一緒で暮してゐた人の話によると、一夜妻といふのぢやない、しよつちゆる變る。

F 毎日交替。

D 交替妻といふのだね。(笑聲)

F 煙草一函とか。

D 本願寺の下にゐるのはみんなそうです。子供を除いて。十五の女が妊娠した。

編輯者 配偶者があるのも？

D 櫻ヶ丘國民學校にゐるのは正當な配偶者はあるけれども、本願寺へ行つたら問題でない。

A 配偶者を田舎へ置いて東京へ出てゐる。愛ふべきことは性病、殊に悪質の梅毒が出たりすることだ、と「スターズ・アンド・ストライプス」に出てゐたね。さういふものが蔓延つてゐる。驕を中心として賣笑婦が出現してゐる。それが媒介として、つまり上野驛の浮浪者を中心として悪くなるんぢやないかと思ふのですよ。

D 上野の山には、驕の裏のところに實際夜になるとゐるさうです。呼び止めてやつてゐる。

F 田舎から出て来るでせう。そいつを捉へて米いくらかとさ……

編輯者 金よりも米。(笑聲)

F 米一升ですか。

B 米とか煙草。

編輯者 形の上で一應家庭といふか、家族的な生活をやつてゐるのもあるわけですか。

B 不可能でせうな。

A 本願寺は男と女は別々だつたでせう。

E 女達は内部でも淫賣が行はれてゐる。

むしろ外部よりも内部における方がひどらしいですね。

A ところが、本願寺における夫婦といふのは別々にゐるわけです。事實上何でもないのがな。

B そこまでは分析してみなかつた。

D 現象をちよつと見たんでは分らない。

編輯者 それは道徳觀、殊に羞恥心は全然ないといふやうな状態でせうね。

A ないですね。ちよつちやな子供が變なことをしてゐるのを見ると氣持が悪くなるね。

D 道義心の低下では、——本願寺では死ぬのは往々コロッと死ぬのが多い。焚火をし

て居睡りをして翌朝死んでゐる。さうすると、所持品は何もなくなつてゐる。身につけてゐる金も何もない。本願寺は浮浪者は焚火にもあたれない。焚火にあたりになると追つ拂ふですよ。

F えらい人がゐる。嚴重な階級組織が……

E 中に組織があるね。嚴重な……

F 右翼團體です。

### あまりにも種物的な

編輯者 さつきいはれた、自主的な組織でやらせるやうにするのでなければいけないといふ問題ですね。それと關聯して浮浪者自身が自分の將來といふやうなことに希望を持つてゐるかどうか、さういふ點はどうですか？

C 希望は持つてないでせう。

編輯者 何とか打開されてゆく、一應の見透し……

E 諷觀的な雰囲気ですね。

C その日の生活に追はれてゐて、働いて食へばいい。

B それは浮浪者ばかりでなしに、曠舎生活者にも通ずる特徴だ。隣組長だけですよ、呼びかけて政治的な問題に答へるのは……。フロム・ハンド・ツィ・マウス。政治なんかどうでもいい。要するに喰へればいい。どんな生活

でもいい。下へ行くときです。さういふ人は天皇制なんかどうでもいい。ところが、上の方へ行くと、天皇制絶対護持なんといふのは隣組長だね。(笑)さういふふうでもない人達が民主的なものを支持するやうになつてゆかなければならぬ。自分たちの自主的な組織を持てばもつと配給もよくなるし、色々な點が改善される。それを闘争を通じて體驗しなくちゃいけない。

**編輯者** さういふことは多少でも自分の力を信じうる場合ですな。さうぢやなくして、ひとが何とかしてくれるだらう。例へば具體的には共產黨が天下を獲ればよくなる。進歩黨が天下を獲ればよくなる、さういふ考へ方はないでせうか？

**F** そこまで考へてゐないでせうね。  
**D** 曠舎生活者にもそれが言へるかどうか躊躇する位ですからね。

**B** 日本人は騙され續けて来た、徹頭徹尾騙されてしまつたから、誰がいい事を云はうが、實際出来やあしない、といふさういふやうな感じだね。

**F** 誰か、西洋民族——ロシア、フランス的な怒りは動物的だけれど、東洋民族——日本の怒りは植物的だ、と、成程さうだ。

**D** 天皇制支持が九七パーセントで、三、

パーセントが反對といふ場合、三、パーセントが重要なやうに、浮浪者の中でも重要ぢやないかと思ふのですけれども……。

**B** 天皇制護持は何パーセントといふ、よく聞いてみると、どうでもいい連中があるわけですよ。さういふ連中がどう動くかといふことが問題なんです。すべて民主主義でもなんでもさういふ人だちをどうして啓蒙してゆくか？ 大事ぢやないか。さういふ點では浮浪者の失業者の組織とか、さういふ市民一般の臺所に到るまでが政治に繋がつてゐるといふことを實際の體驗を通じて教へなければいけない。

**編輯者** 今のやうな状態で啓蒙の機會が興へられてゐますか？  
**B** それは新聞を読んでゐないでせう。ヲヂオが焼けてゐるでせう。ですからさういふことは本當にそこにある活潑な人達が動く以外に具體的にはない。

**D** 各自の行動以外にないですよ。  
**B** どういふ政黨を支持するか、といふことを調査して見ても、やはり具體的な事例をもつて、單なる話し合ひぢやなくして、労働組合の闘争を通じて、片一方の家の生活が比較的樂になつたとか、さういふことが一番啓蒙になるんぢやないかな。

**F** しかしそれはね、單に啓蒙するとか、訓練し直すとか、さういふんぢやなくして、本當に中へ飛び込んで行つて、一緒に生活して、共に苦しんでゆく方法をとるべきですね。

**B** お互に民衆同志が學ぶといふか、僕達の中へ飛び込んで行くのは別問題として彼等だけが闘争を通じて自分の生活を高めて行くことを學ぶ、といふことが一番強い刺激になるんでないでせうか？

### 生ける屍を生ず政治

**A** 實際今の條件として、そこへ行く道があるかどうか、浮浪者の場合、浮動性があつて組織といふものを持ち合ふ基礎はないのだな。そいつはすぐ駄目になる。

職場といふやうなものはないからな。  
**A** だからさういふものを作る意味でも、今急速に無料宿所みたいなものを作つて、さういふところにオルガナイザーが入つて行つてやることだ、これ以外にない、上野驛で組織することは不可能だ。

**F** それを造るのはどういふ方？  
**A** それは勿論國家で造る。

**F** だからわれわれがやらなかつたら——  
**F** だからわれわれに限らず、その運動には前提がある

でせう。それを如何にするかといふことが問題ぢやないか。たゞ國家でする、國家でするといふのみでは……。

A 國家でするのは當り前だ。

F 今の政府、今の機構では出来ない。

A そいつがそこまで解らせれよばいい。

今の政府ではどうにもならないといふことを――。

D それぢや議論が堂々廻りですよ。今度壕舎生活でリポートを書く必要があります。二、三ヶ月前に廻つた時とどんなに違つたかを見て歩きましたが、一つの重要な相違點は、例へば、僕が尋ねて行つた壕舎部落のお内儀さん、それは三ヶ月前に行つて知つてますから割合親しく、割合に政治的なことを話して上げると、三ヶ月前に見られなかつた隣組の人が聞きに来るとか、お内儀さんが来る、さういふ現象がありましたね。こゝだけこゝなつたかと思つたら、品川と芝區兩方の區でもさういふことが二、三回ありました。それだけ自覺といふか……。

B 總選舉のためもあると思ふのです。政治的な意識が高まつて來てゐるのは……。

D 浮浪者を壕舎生活者に高めるに共同施設が最大の條件ですから、お互に話し合ふ機會を作つてやることは必要ですね……。

C 壕舎生活者、まだ生きてゐる、生計してゐるといふ氣持がありますけれど上野驛へ行つて浮浪者がゴロゴロ寝てゐるのを見ると生ける屍といふ感じがしますね。政治とか、生活とかいふものよりも、この人間を生かさなければならぬといふことを痛切に感じるのですよ。あれを見ると、本當に日本の抽象的な現状が具體的に一つの上野の舞臺において現れた、やうな氣がします。

B 生ける屍を生かせる政治が必要なわけですよ。

D それには、どうするかといふことが次の問題です。

D 今の浮浪者は社會事業の對象でない。社會事業的救済や人道主義的温情主義ではどうにもならない。

E 慈善政策では駄目ですね。

F このまゝほうつてをくと煽動政治家が出て來て、ちよつと旨く反動的に組織すれば大變なことになる。(この項終)

(附記) 敗戦は、これまでわれわれの豫想もしなかつたやうな新しい社會生活を登場せしめた。壕舎生活、大量の離職者、鬧市場、労働争議、等。ここに主題となつてゐる浮浪者も亦その一つである。東大社會科學研究會の

諸君は、さきには壕舎生活を、續いて浮浪者を、粗上に採り上げ、何物にも捉はれないその立場から問題の所在に逼るうとしたのである。現在われわれが社會調査に重要な意義をみとめるのは、敗戦後に引續いて生起する様々な社會生活の分野で、全く從來想像もし得なかつた問題が起つて居り、それらの新しい問題は、これまでの既成觀念や「公式」では到底把握し盡せなくなつてゐるからである。

浮浪者の問題もまたその一つである。浮浪者についての問題が、通例考へられてゐるところに比較して更に深く、また複雑多岐であることに驚いたことであつたが、そこから幾つかの暫定的結論が引き出されたようである。即ち、一、浮浪者の發生は、單に彼ら自身の個人的性癖に根差すものではなく、その基礎には共通の經濟的理由が潜んでゐること。復員軍人、徵用解除の工員、戦災者らが「歸農」しようとしても郷里が貧農のためにその餘地がなく再び都市へ流出する。また戦災者の中では、壕舎を建てる經濟的實力を全然缺いてゐるものが浮浪者化してゆくこと、等。二、従つて、浮浪者問題は、單なる慈善的措施または社會事業的救済の對策ではなく、強力な國家的施設、面も浮浪者自身の自主性成育がその中で目覺めるような機構をも

つた施設によつての解決されること。三、上野驛を中心として行はれたこの調査は、一方では櫻ヶ岡國民學校の講堂に、他方では淺草本願寺の地下室にまで延びてゐるが、こちら三ヶ所を通じて浮浪者に三箇の類型のごときものが見出せること。即ち、比較的恒常的な勤勞活動と結びつきその生活條件に於てもやゝ上層に位置する部分から、全くかゝる勞働から遮斷され純然たる救恤によつて扶養され、非人間的生活條件に脅かされ營養失調死の寸前に在る人々に至るまで、幾つかの段階的特質がみられる。四、浮浪者は幾つかの小集團に編成され、それらを統轄する香具師的組織が背景にあること。これは、報告によれば一面では闇市場と聯繫を持ち、一面では右翼的政黨分派に結合してゐる。この點は、すでに、昨年末、風早八十二氏によつて指摘されたところであつたが（昭和二十年十二月二十六日、二十八日の讀賣報知を見よ）社會科學研究會諸君の報告で一層確かなものなされた。これらは、社會事業を喰ひものにすするボスの組織であり、闇市場を彼らの流通所得の根據とするところの香具師的、右翼的、政治分派の一形態にすぎないものであり、ルンペン・プロレタリアの低位の意識を反民主革命への政治的使喚に利用する危険の多分に

あることに注目する必要がある。——その他、浮浪者中に於ける資深、少年浮浪者群の問題など。

次に若干の散後感を記しておこう。調査從事者が何れも豫め問題の所在や「公式」やを持つて調査に臨んだのでなく、謂はば問題の重要さに押されて自主的に調査対象の中に飛び込んで行つた經過は、この座談會の最初の部分によく覗へるが、このことは却つて浮浪者調査を内容あるものにしたと言へよう。率然と問題に立ち向ひ、その中から問題の所在を掴み取らうとした調査者の意欲のほどがみえて、心強い次第である。座談會の後半でやゝ政治談議に落ち込みかゝつた箇所がみえるが、全體として問題の各面がよく捉へられて居り、座談で採り上げられた個々の問題が一層入念に調べられ分析されるらしい、學問的にも全く新しい領域の開拓が行はれるであらうし、從來官廳や社會事業團體の行つた浮浪者調査とは異つた、科學性を持つた社會調査が出来上るであらう。と同時に、金融緊急措置以後に於ては、一層大量化すと思はれる浮浪者の登場に對し、政府は何を爲すべきか、に對して誤まらざる指針を與へることもなるであらう。

更に、勤勞意欲の問題について疑問が残さ

れる。大學新聞第五十一號（二月十一日號）に掲載された東大社會科學研究會の調査報告によれば「大部分のものが積極的に働く意欲を持つてゐる」と言ふ。また「この場合、注意すべきことは、闇商賣、手傳ひ、更に進駐軍關係の仕事迄をも彼らは、ノーマルな「仕事」と考へてゐない傾向の見られことであつて、勤勞意欲は相當健全であると見做すことが出来よう」と。これに對して、本座談會では、勤勞意欲の存在に就ては否定的であるように思はれる。浮浪者は、全體として、むしろ「諦觀的」だと判斷されてゐる。この勤勞意欲に對する判斷の差は何に基くのか、調査者から筆者のきき度いところである。大學新聞に於ける報告では、謂はば在るべき浮浪者の心的状態が念頭に置かれ本座談會では現に在るところの浮浪者が問題にされたのであらうか。またこれは、浮浪者に於ける類型間の差異として、理解するべき問題であらうか。何れにせよこの問題の判定は、浮浪者問題の鍵であつて、今後に於けるすべての浮浪者政策を左右するほどの重要性を持つてゐる。

（大河内一男記）

# GENRON (The Public Opinion)

Published monthly  
Price ¥ 3.80

言論

第一  
三號

昭和廿一年三月三十日印刷  
昭和廿一年四月五日發行

(每月二回五日發行)

定價參圓八拾錢

(送料十錢)

